

◆小数に整数をかける計算

① 1.3×3 の計算のしかたを考えましょう。

13 × 3 の計算のしかたとくらべながら考えてみよう。

1.3 × 3

- ・ かけられる数の 1.3 は、0.1 を 13 こあつめた数です。
- ・ 1.3×3 の積は、0.1 を (×) こあつめた数です。

- ・ $13 \times 3 = 39$ だから、 1.3×3 の積は、0.1 を こあつめた数です。
- $1.3 \times 3 =$

13 × 3

- ・ かけられる数の 13 は、1 を 13 こあつめた数です。
- ・ 13×3 の積は、1 を (13×3) こあつめた数です。

- ・ $13 \times 3 = 39$
- ・ 1.3×3 の答えは、 13×3 の答えの $\frac{1}{10}$ です。
- ・ $1.3 \times 3 =$

② 1.3×3 の筆算は、次のようにします。

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times \quad \square \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times \quad 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.3 \\ \times \quad 3 \\ \hline 3.9 \end{array}$$

① かけられる数とかける数を、右にそろえて書く。

② 小数点がないものとして、整数のかけ算と同じように計算する。

③ かけられる数の小数部分のけた数と同じになるように、積の小数点をうつ。

1.3×3 は 0.1 をもとにすると、 13×3 と考えられるね。

1.3×3 の積は、 13×3 の積の $\frac{1}{10}$ だね。

◆いろいろな小数×整数の筆算

① 2.8×34

	2	.	8
×	3		4

② 1.38×7

	1	.	3	8
×				7

③ 2.35×4

	2	.	3	5
×				4

④ 0.045×13

	0	.	0	4	5
×				1	3

2.8 × 34 の筆算のしかた

- ①かけられる数とかける数を、右にそろえて書く。
- ②小数点がないものとして、^{せいすう}整数のかけ算と同じように計算する。
- ③かけられる数の^{ぶぶん}小数部分のけた数と同じになるように、^{せき}積の小数点をうつ。

かけられる数を 100 ^{ばい}倍すると、 138×7 と同じように計算できる。



138×7 の答えを $\frac{1}{100}$ にすると、 1.38×7 の答えを ^{もと}求めることができるね。



2.35 は 2 よりも少し大きい数だから、4 をかけた大きさは…。

2.35×4 の答えは 9.40 で、9.4 と同じ大きさだから、0 は ^け線で消して、9.4 とするよ。



0.045 を 10 ^{ばい}倍した大きさは 0.45 だね。



小数と整数のかけ算、わり算 ③

(教科書 77 ~ 82 ページ)

4 年	名	
	組 前	

◆練習

① 0.8×9

		0.8
×		9

② 4.7×8

×		

③ 13.6×4

×			

④ 5.3×16

		5.3
×	1	6

⑤ 0.7×59

×		

⑥ 3.46×28

×			

⑦ 0.64×49

	0.64
×	49

⑧ 2.68×5

⑨ 3.25×4

⑩ 0.032×5

	0.032
×	5

⑪ 0.703×69

⑫ 2.745×38

◆小数を整数でわる計算

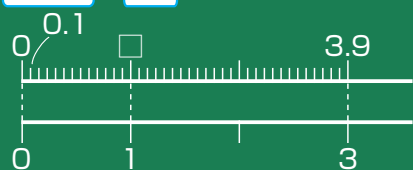
① $3.9 \div 3$ の計算のしかたを考えましょう。

39 $\div$ 3 の計算のしかたとくらべながら考えてみよう。

3.9 $\div$ 3

・ わられる数の3.9は、0.1を39こあつめた数です。

・ $3.9 \div 3$ の商は、0.1を ($\div$) こあつめた数です。



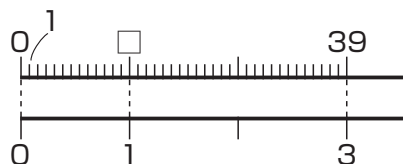
・ $39 \div 3 = 13$ だから、 $3.9 \div 3$ の商は、0.1を こあつめた数です。

$$3.9 \div 3 = \text{$$

39 $\div$ 3

・ わられる数の39は、1を39こあつめた数です。

・ $39 \div 3$ の商は、1を ($39 \div 3$) こあつめた数です。



・ $39 \div 3 = 13$

・ $3.9 \div 3$ の答えは、 $39 \div 3$ の答えの $\frac{1}{10}$ です。

$$3.9 \div 3 = \text{$$

② $3.9 \div 3$ の筆算は、次のようにします。

$$\begin{array}{r} \text{} \\ 3 \overline{) 3.9} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1 \text{ } \\ 3 \overline{) 3.9} \\ \underline{3} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1. \text{} \\ 3 \overline{) 3.9} \\ \underline{3} \\ 9 \\ \underline{9} \\ 0 \end{array}$$

① 整数部分の計算をする。

② 商の小数点を、わられる数の小数点にそろえてうつ。

③ 整数のわり算と同じように、つづきを計算する。



$3.9 \div 3$ の商は、 $39 \div 3$ の商の $\frac{1}{10}$ だね。

4 年	名	
	組 前	

◆いろいろな小数÷整数の筆算

① $7.2 \div 8$

② $80.6 \div 26$

③ $14.16 \div 6$

④ $5.472 \div 18$

7.2 ÷ 8 の筆算のしかた

- ① わられる数よりわる数のほうが大きいので、一の位に商はたたないから、0 をたてる。
- ② 商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $8 \overline{)72}$ と同じようにして、つづきを計算する。

80.6 ÷ 26 (わる数が 2 けた) の筆算のしかた

- ① 整数部分の計算をして、一の位に 3 をたてる。
- ② 商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $806 \div 26$ と同じようにして、つづきを計算する。

14.16 ÷ 6 (わられる数が $\frac{1}{100}$ の位まで) の筆算のしかた

- ① 整数部分の計算をして、一の位に 2 をたてる。
- ② 商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ $1416 \div 6$ と同じようにして、つづきを計算する。

5.472 ÷ 18 (わられる数が $\frac{1}{1000}$ の位まで) の筆算のしかた

- ① わられる数よりわる数のほうが大きいので、一の位に商はたたないから、0 をたてる。
- ② 商の小数点を、わられる数にそろえてうつ。
- ③ 次に、 $54 \div 18$ の計算をして、 $\frac{1}{10}$ の位に 3 をたてる。
- ④ $5472 \div 18$ と同じようにして、つづきを計算する。

小数と整数のかけ算、わり算 ⑥

(教科書 83 ~ 87 ページ)

4 年	名	
	組	
	前	

◆練習

① $7.2 \div 6$

$$\begin{array}{r} 6 \overline{) 7.2} \\ \end{array}$$

② $6.4 \div 2$

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 6.4} \\ \end{array}$$

③ $11.2 \div 4$

$$\begin{array}{r} 4 \overline{) 11.2} \\ \end{array}$$

④ $27.2 \div 8$

$$\begin{array}{r} 8 \overline{) 27.2} \\ \end{array}$$

⑤ $2.7 \div 9$

$$\begin{array}{r} 9 \overline{) 2.7} \\ \end{array}$$

⑥ $4.2 \div 7$

$$\begin{array}{r} 7 \overline{) 4.2} \\ \end{array}$$

⑦ $93.6 \div 36$

$$\begin{array}{r} 36 \overline{) 93.6} \\ \end{array}$$

⑧ $21.6 \div 54$

⑨ $39.68 \div 16$

⑩ $2.88 \div 48$

$$\begin{array}{r} 48 \overline{) 2.88} \\ \end{array}$$

⑪ $4.913 \div 17$

⑫ $0.576 \div 72$



◆わり進むわり算

4.5m のひもを 6 等分すると、1 本分の長さは何 m になるでしょうか。
わりきれぬまで計算しましょう。

$4.5 \div 6 =$

答え

$$\begin{array}{r} 0. \square \\ 6 \overline{) 4.5} \\ \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.7 \\ 6 \overline{) 4.50} \\ \underline{42} \\ 3 \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 0.75 \\ 6 \overline{) 4.50} \\ \underline{42} \\ 30 \\ \underline{30} \\ \square \end{array}$$

・ 4.5 を 4.50 とみて、
0 をおろす。

・ つづきを計算する。



◆商の四捨五入

商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがいに数で求めましょう

① $11 \div 3$

② $8 \div 9$

③ $3.5 \div 16$

$$3 \overline{) 11}$$



◆あまりのあるわり算

9.3m のひもを 4m ずつ切っていきます。
4m のひもは何本できて、何 m あまるでしょうか。

$$9.3 \div 4 = \square \text{ あまり } \square$$

4m のひものできる本数は
整数で答えることになるから、
商は一の位まで求めればよいね。



答え できて、 あまる。

$$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \overline{) 9.3} \\ \underline{8} \\ 13 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \overline{) 9.3} \\ \underline{8} \\ 1 \downarrow 3 \end{array}$$

・一の位まで計算する。

・おろした 13 は、0.1 が 13 こ分
なので、小数点をうって、1けた
位を下げる。

あまりの小数点は、わられる数の
小数点にそろえてうつよ。



◆練習

わりきれるまで計算しましょう。

① $15.3 \div 6$

② $1.83 \div 15$

③ $9 \div 12$

$$6 \overline{) 15.3}$$

◆倍の計算

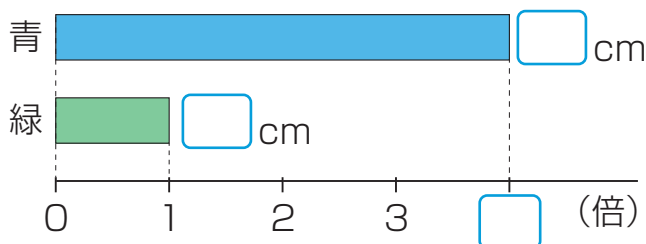


120cmの青のテープ、75cmの赤のテープ、30cmの緑のテープがあります。
青や赤のテープの長さは、それぞれ緑のテープの長さの何倍ばいでしょうか。

① 青のテープの長さは、緑のテープの長さの何倍ばいでしょうか。

しき式 $120 \square 30 = \square$

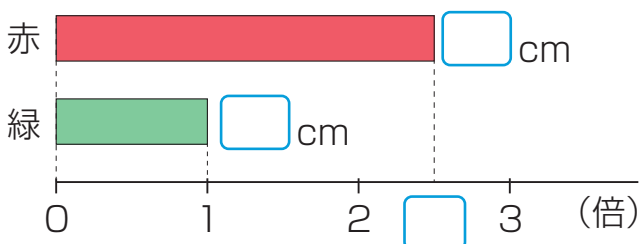
答 $\square$



② 赤のテープの長さは、緑のテープの長さの何倍ばいでしょうか。

しき式 $\square = \square$

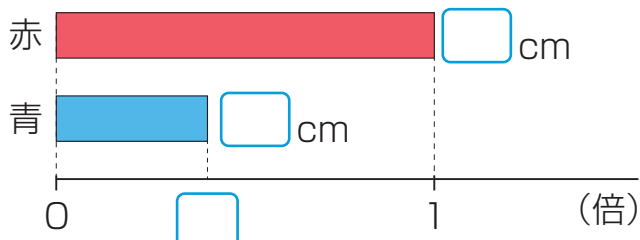
答 $\square$



赤のリボンの長さは 50cm で、青のリボンの長さは 20cm です。
青のリボンの長さは、赤のリボンの長さの何倍ばいでしょうか。

しき式 $\square = \square$

答 $\square$



2.5 倍や 0.4 倍のように
何倍かを表す数が
小数になることもあるよ。